

## 平成 29 年度 第 7 回 国家資格キャリアコンサルタント試験

### (キャリア協) 実技試験 (論述) 解答例 (中里)

※今回の問題のキーワードは、「なじめない」です。「対人職」が苦手で、独りで集中できる「製造」が向いていると感じている CL の相談です。キャリア協は、製造部門がもうないという設定で「今の会社の製造部に戻る」という部分を排除し、あえて「実際するかどうかは別として、もし転職するとしたら…」という CCt の言葉で一見、転職の方向へ展開していく設定をしています。面白いですね。でもね、製造部がないことを分かっていながら国内の別部署への希望をしたのは CL 自身です。このあたりが「キー」になるかな…。

「仕事」には大きく分けて 2 つの側面があります。ひとつは、「経済的基盤としての仕事」。もう一つは、「自己実現としての仕事」です。両側面で満たされればそれは理想だけど、なかなか難しい。そこで、どちらが今は優先するのか考えていくときに、「子どもの年齢」などがキーになります。さあ、どうしようか！

**【設問 1】** 逐語の空欄 A で、キャリアコンサルタントとしてあなたなら CL1 の発言を受け、どのような応答をするか記述せよ。(10 点)

「販売部門への異動はショックながらも 2 年経ちますが、やはり営業の仕事にはなじめないと感じているのですね。なじめないということについて、もう少し詳しくお話ししていただけますか。」(2 行) ←「CL1 の要約と CL2 の質問を書きます。特に、感情の言葉“なじめない”に焦点を当てます。」

**【設問 2】** キャリアコンサルタントとして、あなたが考える相談者の「問題」を記述せよ。(10 点)

「今までの仕事や自身の強みやスキルについて振り返ることをせず、「なじめない」「転職」と短絡的であり、自己理解不足である。また、別部署への異動を希望しておきながら、配属理由や会社側が期待する CL の能力やスキルについて尋ねることなく、コミュニケーションや仕事理解不足と思われる。併せて、今ここの視点でしか仕事を捉えられず、マネープランを含めた中・長期的ライフキャリアプランが描けていない。」(4 行)

**【設問 3】** この事例の展開に関し、以下の問いに答えよ。(30 点)

(1) Z さんに対しどのような提案を行うか。逐語の空欄 B に入る、あなたが考える語句を 2 つ記述せよ。

- ① 「製造や営業など、自身の向き・不向きという職業適性」
- ② 「職務経歴や職業能力などを含む「ジョブ・カード」の活用」

(2) 設問 3 (1) で解答した 2 つのうちいずれかを選択して、キャリアコンサルタントとしてあなたはこの先、どのような働きかけを行うか、具体的に記述せよ。

② のケース

まずは、苦手ながら 2 年間、営業の仕事を頑張ってきたことを労う。その上で、ジョブ・カードについて説明し、「職務経歴シート」や「職務能力証明シート」を作成することを提案し、それをもとに振り返りを行うことで、自身が学んできた専門性や資格、強みなどを明確にするよう促す。また、「キャリアプランシート」では、マネープランを含めたライフキャリアプランを家族と相談しながら作成するよう勧め、それを参考にすることで、転職において、どのような職務や働き方をすればやりがいや自信を持って前向きに働いていけるのか、自ら選択できるよう支援していく。(6～7行)